

科名 血液内科

対象疾患名 Ph陽性ALL

プロトコール名 JALSG Ph+ALL 213 寛解導入療法

Rp 形態	薬剤名	量	1	2	...	6	7	8	9	...	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	...	35	...	42
1 内服	プレドニゾン	60mg/m ² /日	1日3回	↓	↓	...	↓	↓	↓	↓	...	↓	↓	↓										
2 内服	プレドニゾン	30mg/m ² /日	1日3回											↓	↓									
3 内服	プレドニゾン	15mg/m ² /日	1日3回												↓	↓								
4 内服	プレドニゾン	5mg/m ² /日	1日3回																↓	↓	↓			
5 内服	スプリセル	140mg/body	1日1回 朝食後					↓	↓	...	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	...	↓	
6 髄注														↓										

1クール=day42

～MEMO～

・催吐レベル3(30-90%)

・プレドニゾンは、day1からしday7まで先行投与する。その後、day8からday21まで60mg/m²/日で1日3回に分割投与し、day22から1週間で漸減終了する。

なお、注射剤を選択する場合は、投与量・投与方法を内服投与時と同じとする。

漸減方法は、30mg/m²×2日間、15mg/m²×2日間、5mg/m²×3日間とする。

・プレドニゾン：初診時白血球数50000/mm³以上や臓器浸潤が著明な場合は少量より開始してもよい。

漸増方法(例) day1 15mg/m²/日→day2 30mg/m²/日→day4(/5) までに60mg/m²/日

・スプリセルはday8からday35まで、1日1回 140mg/日を1日1回朝食後に計4週間経口投与する。

・day22に「MTX 15mg/body+デキサート注 3.3mg/body」を髄注する。